

0歳児

赤ちゃんと暮らす



ぷっすりねんね・あーおいしい

- ・お母さん、お父さんがいると赤ちゃんも安心
- ・赤ちゃんはバイキンが苦手
- ・「モグモグゴクン」「カミカミゴクン」



- お母さん、お父さんの愛情が一番！ ミルクを飲む時、眠る時、目覚めた時そばにいてね。離乳食（薄味）は赤ちゃんの成長に合わせ、焦らずゆっくりすすめましょう。食べさせる時には「カミカミ」「ゴクン」など、声をかけましょう。
- 赤ちゃんは排泄したい時や眠たい時、空腹時、甘えたい時など泣いて表現します。泣くのは赤ちゃんの「言葉」です。「どうしたの?」「ここにいるよ」と応えてあげましょう。
- 身につけるものや寝具類は、いつもきれいにしましょう。赤ちゃんは、よくものをなめたりさわったりします。おもちゃや身近なものもきれいにしましょう。

おぎやー! えーん、ん? なあに?

- ・赤ちゃんのサインを受け止めて



いない いない ばあ

- ・相手をしてもらうのが大好き



- 赤ちゃんは相手をしてもらうのが大好きです。
“ほっぺをチョンチョン”“お鼻をツンツン”
『いないいないばあ』などをして一緒に楽しみましょう。
- 赤ちゃんの「うーうー」「あーあー」「うまうま」に「そうだったの」「うれしいのー」など、笑顔で応えてあげましょう。
- 赤ちゃんは毎日のやりとりの中で大人の言葉をよく聞いています。じっと聞いていた分、言葉としてあふれ出てくる時期を楽しみに待ちましょう。

ハイハイ、たっち、あんよ

- ・見る、聞く、触れる、なめるなどの経験
- ・寝返り、十分なハイハイ
- ・つかまり立ち、立つ、歩く



- 手足の指をしゃぶるのも赤ちゃんにとっては遊びです。自分で楽しめるものを発見したのです。
- 音が出る物や動く物をさわってみたい、なめてみたい、トントンやグチャグチャにするのも大好きです。
- 赤ちゃんはまずはさわって、なめて、たたいて、好奇心が満足するまであれこれ確かめます。ハイハイやつたい歩きが始まると、手の届く範囲が広がります。
- 赤ちゃんの目の高さで危険なものをチェックして転倒・誤飲・火傷などの事故防止をしましょう。これは大人の責任です。